



文化財活用センター事業報告書 2020年度



独立行政法人国立文化財機構

文化財活用センター

〈ぶんかつ〉ミッション

文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために

文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた人類のたからものです。私たちは、文化財を通して、それをつくり、つかった人びとの暮らし、大切にしてきた思い、美しいと感じる場所に触れ、歴史やそこに流れる伝統的な価値観を学ぶことができます。それは、私たちがお互いを尊重し、豊かな人生を生きるための糧であり、新たな文化を創造する源になります。



この人類のたからものである〈文化財〉を1000年先、2000年先の未来に伝えることは、今を生きる私たちに課された重要な使命です。

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、あらゆる地域で、子どもから大人まですべての人びとが、日本の文化財に親しみ、身近に感じることができるよう、文化財の活用に関する新たな方法や機会を開発し、情報基盤の整備を目指します。これまでミュージアムを利用する機会に恵まれなかった人を含め、多くの人びとが、文化財を通して豊かな体験と学びを得ることができるよう、文化財を活用した新たなコンテンツやプログラムの開発を行います。

文化財に関わるすべての人びとが、自ら発案し、その力を発揮する機会をつくるとともに、人材育成に取り組み、地域の活性化にも寄与します。

〈ぶんかつ〉ビジョン

ミュージアムに関わる人はもちろん、一般市民も、企業やさまざまな社会的団体も、すべての人びとが、文化財を「守り」「伝える」ために、考え、参加する社会を作ります。



ご挨拶

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、2018年7月、独立行政法人国立文化財機構に設置された組織です。文化財の保存と活用の両立に留意しながら、多くの人に文化財を通して豊かな体験と学びを得る機会を提供することを目指して、さまざまな活動を行っています。

本報告書は、2020年度に実施した事業について、その概要と成果を記録、公開することを目的として制作されたものです。2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々な事業の延期や中止、さらに方針の変更が余儀なくされ、文化財に関わる多くの事業体が翻弄された一年でした。

〈ぶんかつ〉もその例は免れませんでした。一方で、前年度に確立した方向性に従って、地域の博物館や企業等と連携しつつ、一歩ずつではありますが事業を進めることができました。

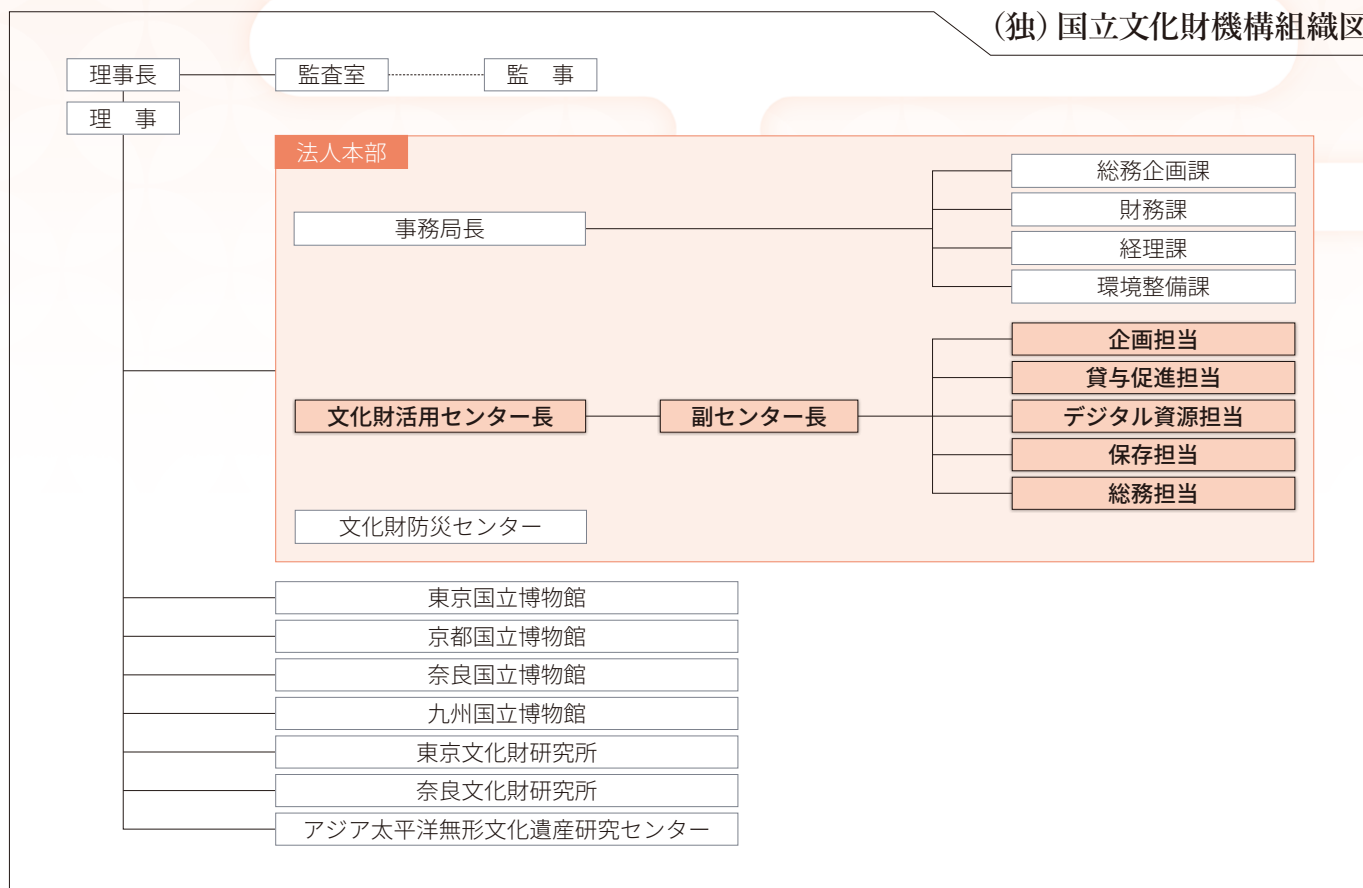
この間、〈ぶんかつ〉の活動にご協力いただきました多くの関係機関、ならびに関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。また、〈ぶんかつ〉が実施した各種事業にご参加いただいた多くのおみなさまにも、心より感謝申し上げます。

感染症の対策として手掛けたことも、翻って別の事業に活かされることもあるかと思えます。本報告書により、改めて1年の事業を振り返るとともに、今後の課題を整理し、さらなる事業の展開を図ってまいります。

文化財活用センター長 旭 充



組織図 (2021年3月31日時点)



2020年度 機構内連携の推進と地域の博物館への貢献

文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、2020年7月で発足から2周年を迎えた。2018年度、2019年度の1年半で企画、貸与促進、保存、デジタル資源の4部門の活動方針が定まり、さらに総務担当を中心にファンドレイジング事業を開始した。2020年度は、機構内連携の推進と地域の博物館への貢献をより推進することを課題としてスタートした。

■機構内連携事業の推進

貸与促進事業において、対象となる文化財を、東京国立博物館の収蔵品から、東京、京都、奈良、九州の国立博物館の収蔵品へと広げることで4館が合意し、2021年度事業の募集(2020年6月応募締切)でその旨を告知した。

また、国立文化財機構の寄附ポータルサイトを構築した。これにより、4館2施設のさまざま寄附事業について一覧が可能となり、ウェブ上で寄附を受け入れることができるようになった。

このほか、デジタル資源担当の運用するデジタルアーカイブ構築についても継続して協力関係を築き、奈良文化財研究所の所蔵作品データが新たに加わるなどデータの拡充を行うとともに、機構所蔵の国宝・重要文化財に関するデータベース「e国宝」のリニューアルを実施してそのユーザビリティを大きく改善した。

■地域の博物館でのコンテンツ展開

文化財の活用による地域の活性化を目的として、地域の美術館・博物館の事業に貢献する活動をより推進した。

企画担当では、2019年度に引き続き「なりきり美術館」シリーズの地方巡回(千葉市美術館、大分県立美術館)を行い、子どもや若年層を中心とした多くの人々に、文化財に親しむ機会を提供することができた。

また、文化庁による「令和2年度地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業(先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト)」を受託し、大分県立美術館、群馬県立歴史博物館、茨城県立歴史館に複製やデジタルコンテンツを提供し、企画展示を実施することができた。本事業で制作された複製やコンテンツは、レガシーとして、今後も開催館ならびに〈ぶんかつ〉において活用される予定である。

■コロナ禍における対応

保存担当では、文化庁および東京文化財研究所と共同で、文化財施設や所有者などからの新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口を開設。感染症拡大のなかで、文化財と人をどう守るのか、手探りながら、年間21件の相談に応じた。

また、各担当ともに、オンラインでの動画配信を積極的に行い、体験型展示「なりきり美術館」についても「声を出す」アクションを「ジャンプする」に置き換えるなど、感染リスクを伴わない非接触なものにする工夫を試みた。

■〈冬木小袖〉修理プロジェクトの順調な滑り出し

2019年度に開始したファンドレイジング事業〈冬木小袖〉修理プロジェクトでは、コロナ禍にあっても開催された特別展「きもの KIMONO」に当該作品が展示された期間を中心に、個人寄附を順調に獲得。また、「初音ミク」とのコラボレーショングッズ販売を通じた寄附も加わり、大きな成果を上げることができた。

■今後の課題

機構内連携と地域の博物館への貢献が、2021年度以降においても引き続き重点課題となるだろう。

特にデジタルアーカイブデータの公開促進における機構内連携を強化し、資源の拡充と利用の促進を図りたい。資金調達事業についても、より一層の連携強化が望まれる。各館各施設の積極的な参画を促し、多くの人々が文化財を守る活動に参画する機会の創出を推進したい。

地域の博物館への貢献については、外部資金の導入を図りつつこれまでの知見に基づいて、より地域に寄り添った活動を展開する。また、それに伴う経済効果の創出についても、よりインパクトのある企画立案、地域との連携による広報の拡充などに努め、成果を出していきたい。

企画担当

企業等と連携して、先端的な技術を用いた高精細複製品やデジタルコンテンツを開発するとともに体験型展示企画を国立博物館ならびに地域の博物館で展開。これまでミュージアムを利用する機会がなかった方々を含め全国の多くの人びとが、文化財に親しみ、豊かな体験と学びを得ることを目指す。

体験型展示(レプリカ・映像活用)

実施事業数
10件

2018、2019年度に引き続き、高精細複製品や映像等のデジタルコンテンツを使った体験型展示を東京国立博物館および地域の博物館で展開した。新規コンテンツの開発に際してはできるだけ非接触の体験とし、既存のコンテンツについても一部改訂を加え、新型コロナウイルス感染症対策を講じた。残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大のため、予定されていた事業2件が、次年度に延期された。

① 高精細複製品によるあたらしい屏風体験「国宝 花下遊楽図屏風」(限定公開) 消失部分を復元した高精細複製品を、映像や音響とともに鑑賞

会期 2020年7月1日(水)～2020年7月2日(木) 2日間 ※事前予約制

会場 東京国立博物館 表慶館エントランス

体験者数 86人

アンケート 満足度：85.0% (とてもよい、よい)

連携企業等 コンテンツ制作：プロトタイプ

概要 原品では失われた部分を、残されたガラス乾板をもとに復元した国宝「花下遊楽図屏風」の高精細複製品を展示し、プロジェクションマッピングと音響による幻想的な空間を創出。桜と海棠が咲きほころなか、着飾った女性たちの宴のシーンを演出した。
※ 特別展「体感!日本の伝統芸能」(2020年3月10日～5月24日/主催:文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、東京国立博物館、文化財活用センター、読売新聞社)の一部として企画された。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同展が開催中止となったことに伴い、本コーナーのみ、事前予約の体験モニターに限定して2日間公開したもの。
※ 本展示の動画を制作。2020年7月3日～YouTubeぶんかつ【文化財活用センター】チャンネルにて公開。

評価 予約枠はほぼ満員となり、体験者からは高い満足度を得ることができた。また、動画配信により、非来館者にも広く公開できた。



② 日本文化紹介映像 A GLIDE ON THE GREAT WAVE

日本ならではの四季を通して東京国立博物館所蔵の多彩な文化財との出会いを楽しめる映像を公開

上映期間 2020年7月1日(水)～2021年3月28日(日) 1日3回

会場 東京国立博物館 東洋館 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

アンケート 満足度：87.1% (とてもよい、よい)

連携企業等 コンテンツ制作：凸版印刷

概要 2019年度に制作した映像を東京国立博物館ミュージアムシアターにて無料上映。あわせて、自宅等でも文化財に親しむことができるよう、2020年5月7日～YouTubeぶんかつ【文化財活用センター】チャンネルにて動画を先行公開。
※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2020年4月公開を繰り下げて実施。

評価 日本美術にはじめて親しむ来館者に向けて導入の役割を果たすとともに、オンライン上での動画先行公開により、非来館者に対しても文化財に親しむ機会を提供することができた。



③ びじゅチューン!×ちばしび「なりきり美術館」

なりきり日本美術館(2018年トーハク開催)の地方巡回

会期 2020年7月11日(土)～9月6日(日) 31日間

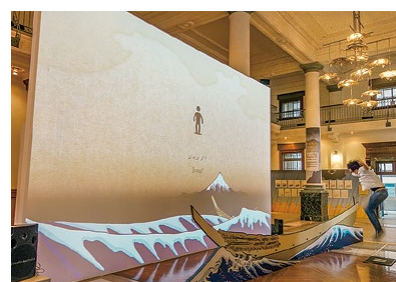
会場 千葉市美術館 1階さや堂ホール

来館者数 4,933人

連携企業等 共催：千葉市美術館、NHK千葉放送局、コンテンツ制作：プロトタイプ、TNYU

概要 2018年トーハク×びじゅチューン!「なりきり日本美術館」で制作した3コンテンツ(神奈川冲浪裏/大橋あたけの夕立/見返り美人図)を、千葉市美術館リニューアル記念展覧会にあわせて実施。

評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、声を出すインタラクティブを、ジャンプによるインタラクティブに変更。社会状況に応じた展開を試み、好評を得た。



④ 8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」(実証実験)

茶の湯の名碗を手取るように鑑賞できるコンテンツ

会期 ① 2020年7月29日(水)～8月2日(日)5日間 ※事前予約制
② 2020年11月10日(火)～11月23日(月・祝)13日間 ※再公開

会場 東京国立博物館 東洋館1階ラウンジ

体験者数 1,856人(延べ)(①163人、②1,693人)

アンケート 満足度:①96.5%、②95.4% (とてもよい、よい)

連携企業等 東京国立博物館、シャープ

概要 かたちと重さを実物に合わせた茶碗型ハンズオンコントローラーを動かすことで、大型8Kモニター上の高精細画像を360度好きな角度から鑑賞。まるで手取るように茶碗を鑑賞できるコンテンツ。

※ 感染防止対策のため、7月実証実験では事前予約制の限定公開とした。好評につき、11月に事前予約なしの再公開を行った。

評価 「2020年度 グッドデザイン賞」および「グッドデザイン・ベスト100」を受賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)。外部からも高い評価を得た。



⑤ 5Gで文化財 国宝『聖徳太子絵伝』ARでたどる聖徳太子の生涯

ARグラスと5Gスマートフォンで国宝「聖徳太子絵伝」の魅力に迫る新しい鑑賞体験

会期 2020年9月29日(火)～10月25日(日)24日間 ※事前予約制

会場 東京国立博物館 法隆寺宝物館資料室

体験者数 1,437人

アンケート 満足度:76.8% (とてもよい、よい)

連携企業等 共催:東京国立博物館、KDDI、協力:NHKエデュケーション

概要 国宝「聖徳太子絵伝」について、8Kの高精細画像と5Gの高速大容量通信技術やAR(拡張現実)技術を組み合わせることで、新たな鑑賞体験を可能にしたコンテンツを公開。

評価 先端技術の組み合わせにより、およそ千年前に描かれた国宝「聖徳太子絵伝」を詳細な解説とともに楽しく鑑賞する機会を提供できた。マスコミからの注目も高く、多くの媒体で紹介された。



⑥ 高精細複製品「国宝 花下遊楽図屏風」

消失部分を復元した「国宝 花下遊楽図屏風」高精細複製品の展示

会期 2020年10月6日(火)～11月29日(日)48日間

会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ

概要 特別展「桃山一天下人の100年」における国宝「花下遊楽図屏風」の展示に合わせ、2019年度に復元制作した高精細複製品を平成館ラウンジで展示。



⑦ 綴プロジェクト寄贈の高精細複製品お披露目

2019年度に綴プロジェクトより寄贈された高精細複製品「納涼図屏風」「秋草図屏風」「歌舞伎図屏風」の公開

会期 2020年10月27日(火)～12月6日(土)29日間

会場 東京国立博物館 北側庭園 九条館

概要 2019年度に綴プロジェクト(正式名称:文化財未来継承プロジェクト、主催:非営利活動法人京都文化協会、共催:キヤノン)より寄贈された高精細複製品を、秋の庭園開放に合わせて庭園内茶室に展示した。



左より歌舞伎図屏風、秋草図屏風、納涼図屏風(いずれも高精細複製品)

⑧ 親子のギャラリー「トーハク×びじゅチューン! なりきり日本美術館リターンズ」

2018年にトーハクで開催し好評を博した「なりきり日本美術館」の続編

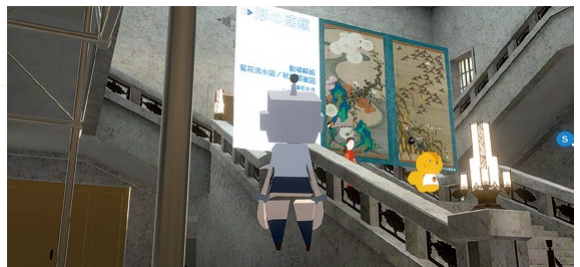
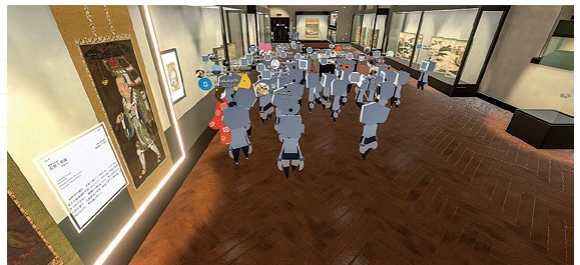
会期	2020年10月27日(火)～12月6日(日) 36日間 ※事前予約制
会場	東京国立博物館 本館特別4・5室
体験者数	26,064人(うち中学生以下子ども5,207人)
アンケート	満足度:97.1%(とてもよい、よい)
連携企業等	コンテンツ制作:プロトタイプ、凸版印刷
概要	NHK Eテレの番組「びじゅチューン!」で取り上げられたトーハク所蔵の文化財をテーマに、高精細複製品や映像を使って「びじゅつ」を楽しむ体験型の展覧会。2018年にトーハクで開催し好評を博した「なりきり日本美術館」の続編。今回は重要文化財「風神雷神図屏風・夏秋草図屏風」、国宝「松林図屏風」、国宝「八橋経絵螺鈿硯箱」に関わる3つのコンテンツを制作。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染症対策に留意し、鑑賞をメインとするコンテンツを制作した。来館者の満足度は高く非常に高い評価を得ることができた。



⑨ 時をかける少女 | 東京国立博物館 バーチャル特別展「アノニマス-逸名の名画-」

人気アニメ映画「時をかける少女」とのコラボレーションによるバーチャル特別企画展

公開期間	2020年12月19日(土)～2021年2月28日(日) 72日間
会場	オンライン上のバーチャルな東京国立博物館内
鑑賞者数	3,374人(延べ)
アンケート	満足度:79% トークイベント満足度は91%
連携企業	凸版印刷、スタジオ地図
概要	コロナ禍での新たな鑑賞方法を創出するためのデジタルミュージアム化事業。上記展覧会のほか、オンライントークイベント「時をかける日本美術」(12/18)、バーチャルトーハク公開(無料)(2020年12/7～2021年2/28)、イベントのアーカイブ配信なども行った。 ※令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」、「舞台公演のデジタル映像配信による新たな収益確保・強化(舞台芸術団体モデル)ほか」
評価	コロナ禍における新しい参加体験型コンテンツの在り方を提示。バーチャル空間を使った様々な企画展開の可能性を開くことができた。また、期待された事業収入を得ることはできなかったが、20-30代という従来より若い来館者層の獲得につながった。



⑩ びじゅチューン!×OPAM「なりきり美術館」

なりきり日本美術館(2018年・2020年トーハク開催)の地方巡回

会期	2021年2月19日(金)～5月9日(日) 77日間
会場	大分県立美術館(OPAM) 1階アトリウム、3階展示室B、コレクション展示室
来館者数	18,368人
アンケート	満足度:88.1%(とてもよい、よい) ※～2021年3月13日までの集計
連携企業等	共催:びじゅチューン!×OPAM なりきり美術館実行委員会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館、NHK大分放送局、コンテンツ制作:プロトタイプ、TNYU
受託	文化庁「令和2年度地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業(先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト)」
概要	2018年トーハク×びじゅチューン!「なりきり日本美術館」の4コンテンツ(神奈川沖浪裏/大橋あたけの夕立/見返り美人図/麗子微笑)、及び2020年トーハク×びじゅチューン!「なりきり日本美術館リターンズ」で公開した2コンテンツ(風神雷神図・夏秋草図/松林図)を、OPAM開館5周年事業の一環として大分県立美術館にて実施した。
評価	過去最大の6コンテンツを展開。体験型コンテンツと関連する実物文化財を同じ空間に配置する新たな展示手法を試み、家族連れや若年層の来館促進に寄与することができた。



企業や各種団体と連携して、先端的な技術による文化財の複製の製作、プロジェクションマッピングやVRの手法を用いたデジタルコンテンツの開発を継続して行った。コロナウイルス感染拡大防止のため、展示場での体験型企画においては、非接触型の体験を目指し、さらにオンラインでの配信コンテンツを重視しつつ開発を行った。



「焔」(複製)

	材質・技法	制作	備考
絵画			
国宝「観楓図屏風」狩野秀頼筆	和紙に印刷	キヤノン	
重文「四季花鳥図屏風」伝雪舟等楊筆	和紙に印刷	キヤノン	
「焔」上村松園筆	絹に印刷	キヤノン	
重文「風神雷神図屏風」尾形光琳筆/「夏秋草図屏風」酒井抱一筆	和紙に印刷・金銀箔貼付	キヤノン	2つの作品を表裏一体とした復元複製2件、うち1件は文化庁受託事業
国宝「孔雀明王像」	絹に印刷	綴プロジェクト(寄贈)	
考古			
重文「遮光器土偶」	樹脂製	凸版印刷	ハンズオンレプリカ
重文「遮光器土偶」前後分割版	樹脂製	凸版印刷	ハンズオンレプリカ2個
国宝「埴輪 挂甲の武人」	樹脂製	トリアド工房	2個 ※文化庁受託事業
国宝「埴輪 挂甲の武人」着用の挂甲 復元複製		トリアド工房	大人用2領、子供用2領 ※文化庁受託事業
工芸			
伎楽装束 裳・袍 復元複製		染技連	
重文「黒糸威二枚胴具足」榊原康政所用		丸武産業	大人用1領、子供用1領 ※文化庁受託事業
デジタルコンテンツ			
「風神雷神図屏風・夏秋草図屏風 表と裏でダブルデート」	映像・体験型	プロトタイプ	「なりきり日本美術館リターンズ」
「国宝「松林図」ライブ」	映像・体験型	プロトタイプ	「なりきり日本美術館リターンズ」
「おじゃまします八橋蒔絵硯箱」	映像・体験型	凸版印刷	「なりきり日本美術館リターンズ」
8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」	映像・体験型	シャープ	実証実験公開
5Gで文化財 国宝『聖徳太子絵伝』ARでたどる聖徳太子の生涯	映像・体験型	KDDI	
VR等			
「国宝 松林図屏風―乱世を生きた絵師・等伯―」	VR映像	凸版印刷	TNM&TOPPANミュージアムシアター

*原品は、全て東京国立博物館所蔵

複製活用事業

文化財の複製を博物館・美術館・企業等に貸し出した。また、複製品を活用したアウトリーチプログラムについては、東京国立博物館と共同で、小中高等学校の児童生徒を対象に実施し、学校からも高い評価を得ることができた。あわせて、教員のための研修も実施。幅広く展開することができた。

① 複製貸出事業

貸出件数
6件

美術館・博物館に展示を目的とした複製品の貸出およびデジタルコンテンツの貸出を、企業に商用使用による貸出を行った。

■ 複製品貸出 (4件 うち、有料1件)

2020年 8月	複製きもの	(朝日新聞社)
2020年 9月～11月	製作工程模型	(神奈川県立歴史博物館)
2020年 9月～12月	土偶レプリカ	(福島市役所)
2020年 11月～12月	風神雷神図/夏秋草図屏風	(新潟市歴史博物館)

■ デジタルコンテンツ貸出 (2件 うち、有料1件)

2020年 7月～8月	千葉市美術館	(なりきり美術館を開催)
2021年 2月～5月	大分県立美術館	(なりきり美術館を開催)



みなとびあ(新潟市立歴史博物館) 展示風景

② 教育プログラムの提供

東京国立博物館と共同で「ぶんかつアウトリーチプログラム」を11件実施した。(うち講師派遣あり7件、なし3件、その他1件)。また、新たに「見て、感じて、楽しむ松林図屏風(使用複製品:国宝「松林図屏風」長谷川等伯筆)」「見て、感じて、楽しむ風神雷神図/夏秋草図屏風(使用複製品:「風神雷神図/夏秋草図屏風」尾形光琳/酒井抱一筆)」の2件のプログラムを開発し、パンフレットを制作した。また、2019年度の報告書を刊行した。



荒川区立第三中学校	特別授業「おもしろ探求!」	中学校1年生 2020年7月31日(金)
小平市立花小金井小学校	見て、感じて、楽しむ風神雷神図/夏秋草図屏風	小学校4年生3クラス 2020年10月2日(金)
町田市立堺中学校	絵で読む平家物語	中学校3年生5クラス 2020年10月7日(水)～2020年10月8日(木)
足立区立六月中学校	見て、感じて、楽しむ風神雷神図/夏秋草図屏風 (講師派遣なし)	3年生5クラス 2020年10月12日(月)～2020年10月23日(金)
京都府立福知山高等学校・附属中学校	絵で読む平家物語 (講師派遣なし)	中学校1年生～高校1年生 2020年10月20日(火)～2020年10月30日(金)
青森県総合学校教育センター	松林図屏風を使用した特別プログラム (教員研修)	青森県内の図画工作・美術担当教員 2020年10月27日(火)～2020年10月28日(水)
大田区立石川台中学校	見て、感じて、楽しむ松林図屏風	中学校2年生2クラス 2020年11月13日(金)
世田谷区立奥沢中学校	絵で読む平家物語	中学校2年生2クラス、3年生2クラス 2020年11月24日(火)
青梅市立若草小学校	自分だけの松林図屏風をつくってみよう!	4年生2クラス 2020年12月4日(金)
三重県立四日市高等学校	見て、感じて、楽しむ風神雷神図/夏秋草図屏風	1年生 選択授業6クラス 2020年12月18日(金)
新潟市立歴史博物館	自分だけの松林図屏風をつくってみよう! (講師派遣なし)	各回20名(6回実施) 2020年12月22日(火)～2020年12月27日(日)

③ 文化庁受託事業

国立文化財機構が有する文化財について、高精細複製等の先端技術を活用したコンテンツを制作・整備等し、各地域の博物館等の効果的な場所において展示等を行うことにより、来館満足度の向上や地域の活性化を目指す、文化庁「地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業(先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト)」において、ぶんかつの提案が採択され、下記3館にコンテンツを提供・公開した(受託費:約9000万円)。

■ 概要

(1) 大分県立美術館	【風神雷神図屏風・夏秋草図屏風 表と裏でダブルデート】 「びじゅチューン!×OPAM なりきり美術館」における体験型デジタルコンテンツの制作 重要文化財「風神雷神図屏風/夏秋草図屏風」(尾形光琳筆 江戸時代・18世紀/酒井抱一筆 江戸時代・19世紀、東京国立博物館所蔵)の高精細複製品と映像・音響を用いた体験型展示
(2) 群馬県立歴史博物館	【国宝埴輪の甲冑体験】 群馬県出土の国宝「埴輪 挂甲の武人」(古墳時代・6世紀、東京国立博物館所蔵)のハンズオンレプリカおよび、埴輪が着用している甲冑を模した着られる体験用甲冑の提供
(3) 茨城県立歴史館	【サムライ体験】 重要文化財「黒糸威二枚胴具足」(榊原康政所用 江戸時代・17世紀 東京国立博物館所蔵)の着用可能な複製の制作(※新型コロナウイルスの影響により着用ワークショップは中止)



群馬県立歴史博物館
ワークショップ風景



茨城県立歴史館
展示風景

■ 評価

高精細複製等の先端技術を活用し、体感的に日本文化を発信した本事業では、来館者・体験者から高い評価を得ることができ、展示満足度や作品理解度の向上に貢献できた。

企業等との連携

企業との連携により、先端的な技術を使った文化財活用方法の開発、複製品やデジタルコンテンツの制作を行うとともに、その成果の公開を進めた。

事業名称	「文化財の高精細複製品の制作と活用に関する共同研究プロジェクト」	
連携開始	2018年	
参加事業者	キヤノン	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・高精細複製品利用による、文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・教育プログラムを実施するファシリテーターなど、文化財の活用に係る人材の育成 ・高精細複製品について、原本の再現性、耐久性、活用の際の利便性の向上 	
活動概要	高精細複製品制作：4件、キヤノンの参加する綴プロジェクトからの高精細複製品寄贈：1件	
事業名称	「バーチャルリアリティに関する共同プロジェクト」	
連携開始	2018年	
参加事業者	凸版印刷・東京国立博物館	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術による文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・デジタル技術を活用した文化財の鑑賞方法の開発 	
活動概要	VR作品監修：1件	
事業名称	「8Kモニターを用いた文化財の活用方法の開発に関する共同研究プロジェクト」	
連携開始	2019年	
参加事業者	シャープ	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・8Kモニターを活用した文化財に親しむ機会の拡大と文化財についての理解促進 ・8Kモニターを活用した文化財の鑑賞方法の開発と実証実験 	
活動概要	開発コンテンツ「ふれる・まわせる名茶碗」の実証実験を東京国立博物館にて実施	
事業名称	「東京国立博物館・NHK共同研究 「みんなの8K文化財」プロジェクト」	
連携開始	2020年	
参加事業者	NHK・東京国立博物館（マネージメント：文化財活用センター）	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端のスキャナーやフォトグラメトリ技術（多方向からの撮影した画像を3D化する技術）を使用した3DCG＝「8K文化財」の制作 ・「8K文化財」を活用した放送番組や展覧会などのイベント実施、情報通信ネットワークなどでの発表 	
活動概要	「国宝 洛中洛外図屏風（舟木本）」「重要文化財 遮光器土偶」の「8K文化財」および関連番組を制作。2020年3月15日に記者発表会実施。2021年4月以降、順次番組公開予定	
事業名称	「文化財活用センター・NHKエンタープライズ共同研究オンライン用コンテンツ制作事業」	
連携開始	2020年	
参加事業者	NHKエンタープライズ・東京国立博物館	
目的	・文化財をテーマに広く一般を対象とする映像コンテンツ制作の方向性を探る調査・研究	
活動概要	動画1件を制作、2021年3月に東京国立博物館YouTubeチャンネルで公開。 (2件の予定だったが、コロナウイルス感染症の影響で1件のみ制作)	

文化財のデータのデジタル化

法隆寺金堂壁画ガラス乾板デジタル化（2019年度～）

奈良国立博物館にて、法隆寺金堂壁画写真ガラス原板をデジタル化した高精細画像の接合作業が完了。2021年3月31日よりオンライン上で全12面のデータを公開（<https://horyuji-kondohekiga.jp/>）。



貸与促進担当

国立博物館は、従来から収蔵品を自らの施設で展示公開するだけでなく、外部のミュージアムにも貸与し、国内外の展覧会に協力してきた。〈ぶんかつ〉は、日本とアジアの歴史・文化をよりいっそう広く伝えるため、国立博物館の収蔵品貸与の促進に取り組む。

貸与促進事業

実施館
5施設

貸与件数
116件

来場者数
26,298人

国立博物館と共同で、日本とアジアの歴史・伝統文化の発信ならびに地方創生・観光振興、次世代への文化財の継承に寄与することを目的として、国内各地のミュージアムに対して国立博物館の収蔵品を貸し出し、それにかかる作品輸送費等を支出する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」を実施した。

この事業は、2017年度に東京国立博物館が開始したもので、2018年度開催分から文化財活用センターとの共同事業となった。2020年度は、千葉県立中央博物館等5施設に、計116件の文化財を貸与、総計26,298人の方が鑑賞の機会を得た。大規模貸与の対象となった九州歴史資料館については、交通広告等広報支援も行った。

2020年度に募集を行った2021年度事業からは、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館が加わり、本事業の対象となる文化財は4つの国立博物館の収蔵品に広がった。また、収蔵品の貸与促進を図る新たな取り組みとして、貸し出し可能な文化財を一覧化した「貸与可能作品リスト」（日本考古資料、黒田清輝作品）を作成し、募集要項に掲出した。



古河歴史博物館「国宝参上。一鷹見泉石像と古河ゆかりの文化財―」展示風景

実施館	宮城県 東北歴史博物館	
展覧会名称	「伝わるかたち／伝えるわざ —伝達と変容の日本建築—」	
会期	2020年9月26日～11月23日	
貸与件数	16件	
来場者数	3,982人	
満足度	83.8%	

実施館	福岡県 九州歴史資料館	
展覧会名称	「福岡の至宝に見る信仰と美」	
会期	2020年10月6日～11月29日	
貸与件数	27件	
来場者数	4,416人	
満足度	90.9%	

実施館	千葉県 千葉県立中央博物館	
展覧会名称	「ちばの縄文 貝塚からさぐる縄文人の暮らし」	
会期	2020年10月10日～12月13日	
貸与件数	44件	
来場者数	10,564人	
満足度	93%	

実施館	茨城県 古河歴史博物館	
展覧会名称	「国宝参上。 一鷹見泉石像と古河ゆかりの文化財―」	
会期	2021年1月9日～2月7日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により会期短縮： 2021年1月9日～1月17日。	
貸与件数	15件	
来場者数	1,503人	
満足度	96.2%	

実施館	茨城県 土浦市立博物館	
展覧会名称	「東城寺と『山ノ荘』 —古代からのタイムカプセル、未来へ—」	
会期	2021年3月20日～5月5日	
貸与件数	14件	
来場者数	5,833人	
満足度	100%	

保存担当

博物館や美術館等、文化財保存施設における、展示・収蔵環境管理に関する相談対応、改善のための調査、技術支援、また、研修会や講習会の開催などを通じて、質の高い文化財の保存と活用の両立に寄与する。

保存環境に関する相談対応、調査協力など

対応件数
159件

博物館・美術館等からの展示・収蔵環境に関する相談に対応し、必要に応じて現地調査、改善のための協力を行った。また、文化庁からの協力依頼を受け、文化財保護法53条に基づく、所有者以外による国宝・重要文化財（美術工芸品）の公開を予定している博物館・美術館を対象とした保存環境調査を行った。さらに、2020年4月23日付で、文化庁および東京文化財研究所と共同で、文化財施設や所有者などからの新型コロナウイルス感染対策に関する相談窓口を開設し、対応を行った。



展示室における空気環境調査協力

内容等

- 文化財の保存環境管理、改善に関する相談対応 (117件、うち17件に対して現地調査を実施)
- 新築・増改築を行う施設の設計、設備等に関する協議 (2件)
- 国指定品の所有者以外による公開に関わる資料保存環境調査 (対応件数15件)
- 令和3年度貸与促進事業に応募した施設の文化財管理、保存体制の評価 (19件、うち貸与が内定した2件に対して現地調査を実施)
- 新型コロナウイルス感染対策に関する相談対応 (42件の相談のうち21件について当センターが対応)

保存環境に関する研修会等人材育成事業

東京文化財研究所との共催で、「博物館・美術館等保存担当学芸員研修」を、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年より受講者を減らしたうえで実施した。前年度より開始した、保存専従者や研究者などを対象とした、環境調査や管理に関する深い知識を学ぶための「保存環境調査・管理に関する講習会」については、2021年1月25日の開催を予定していたが、緊急事態宣言により、次年度以降への延期を決定した。

① 文化財活用センター主催による研修会等

研修会等	主催 期間	参加 者数
博物館・美術館等保存担当学芸員研修	東京文化財研究所、文化財活用センター 2020年10月5日～10月15日	17名
第3回 保存環境調査・管理に関する講習会 -空気浄化のための化学物質吸着剤-	文化財活用センター、東京文化財研究所 2021年1月25日 (緊急事態宣言により延期)	15名
「保存と活用のための展示環境」に関する研究会 -照明と色・見えの関係-	東京文化財研究所、文化財活用センター 2021年3月4日	27名



博物館・美術館等保存担当学芸員研修の様子

② 論文等業績

1. “博物館等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について” (吉田直人)
月刊文化財2020年11月号
2. “展示ケース等で使用されるクロスから発生するアンモニアの簡便な検出とリスク評価方法の検討” (吉田直人、間淵創)
文化財保存修復学会第42回大会研究発表集 (文化財保存修復学会)
3. “塩素系消毒剤からの揮発物質が文化財へ与える影響について” (間淵創、吉田直人)
保存科学第60号 (東京文化財研究所)

デジタル資源担当

機構各施設の保有する文化財に関わるテキスト、画像といった情報を連携させ、デジタル資源化を推進するとともに、情報の利活用を促進する。

文化財のデジタル資源化の推進と国内外への情報発信

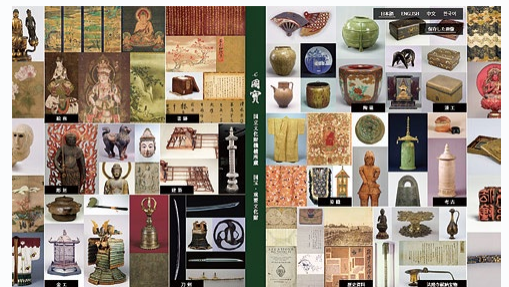
ColBase (国立文化財機構所蔵品統合検索システム)

2020年12月に奈良文化財研究所を対象に追加し、同所が所蔵する木簡のデータ212件を公開した。また2019年度に導入した、4博物館のデータベースとの連携機能を本格的に稼働させ、各館のデータの迅速な追加・更新が行えるようになった。多言語化と画像掲載についても継続して推進を図った。

アクセス数	140,553件 (2021年3月末)
掲載件数	137,843件 (2021年3月末) 解説掲載件数：13,241件 画像掲載件数：18,560件 *2020年度画像追加件数：1,890件 5,900枚 多言語化件数： 英語 31,380件 中国語 10,859件 韓国語 11,309件 解説掲載件数： 英語 5,032件 中国語 3,712件 韓国語 3,728件

e国宝 (国立文化財機構所蔵 国宝・重要文化財 デジタル高精細画像)

2020年10月にWebサイト、モバイルアプリともにリニューアルした。画面デザインを一新し、奈良文化財研究所を収録対象に追加した。またColBaseとの連携により、データの追加・変更に対応できるようにした。リニューアルにあわせて64件の作品データを追加し、62件の作品について新規撮影画像(計204枚)に差し替えた。



アクセス数	1,952,296件 (2021年3月末)
掲載件数	1,112件 (2021年3月末)

総務担当

企業、各種団体、および広く一般の個人を対象としたファンドレイジング活動を通して、多くの人が文化財に親しみをもつとともに、文化財の保存と活用に参画する機会を創出する。

ファンドレイジング活動

「国立文化財機構寄附ポータルサイト」を開設し、各施設が実施する寄附事業や会員制度等の情報を日英2言語で掲載、ウェブ決済を可能とした。また、前年度に東京国立博物館と共同で開始した「重要文化財 小袖 白綾地秋草模様(通称<冬木小袖>)」の修理費等1,500万円を募る<冬木小袖>修理プロジェクトを継続して実施した(2020年1月~2022年6月予定)。



館内募金コーナー

■国立文化財機構寄附ポータルサイト

- ウェブサイト開設(2020年8月7日~)
2020年度寄附金額 1,915,000円

■<冬木小袖>修理プロジェクト

- 特別展開催に併せた募金箱設置、複製きもの展示(2020年6月30日~2020年11月29日)
- 売上の一部が寄附となる取組みとして、企業との連携によりグッズを制作(2020年6月30日~)
2020年度寄附金額 9,440,158円
(2019年度からの総計12,692,430円)



「初音ミク」とのコラボレーションで制作された<冬木小袖>ミクグッズ

広報実績

ぶんかつウェブサイト

▶2020年度(集計期間2020年4月1日-2021年3月31日)

ページビュー数 241,221 (前年度比179%)

閲覧数の多いページ

1. トーハク×びじゅチューン なりきり日本美術館リターンズ	27.36%
2. トップページ	8.69%
3. <冬木小袖>修理プロジェクト	5.99%
4. <冬木小袖>ミック	4.10%
5. 展示・イベント	2.85%

訪問者言語 日本語 92.46% 英語(米) 3.19% その他 3.2%

主な更新事項

- ・なりきり日本美術館リターンズ特設ページ設置
- ・冬木小袖FR

ぶんかつブログ

進行中の事業や活動の舞台裏、文化財にまつわる基礎知識などを各担当のスタッフが紹介。

投稿一覧(2020年4月~2021年3月 33件)

1. 失われた花宴〜よみがえる花下遊楽図屏風〜前編
2. グッズで寄附、<冬木小袖>ミック誕生!
3. ぶんかつは2周年を迎えました
4. 失われた花宴〜よみがえる花下遊楽図屏風〜後編
5. 8Kで手に取る 戦国武将が愛したうつわ
6. ちばしびになりきり美術館がやってきた!
7. 「国立文化財機構 寄附ポータルサイト」がオープン!
8. トーハクの名品から複製きものが完成!
9. 室瀬和美先生に聞く「工藝2020」開催に寄せて
10. 室瀬和美先生に聞く<冬木小袖>修理プロジェクトへの思い
11. 日本の建築史を辿る展覧会、東北歴史博物館で開催中!
12. 2020年度貸与促進事業がいよいよ始まりました
13. 福岡の至宝が里帰り、「福岡の至宝に見る信仰と美」
14. 人と文化財を守るためのミュージアムにおける感染対策
15. 「ふれる・まわせる名茶碗」を再公開します!
16. なりきり日本美術館リターンズで松林図屏風を楽しむ
17. おうちで楽しむ なりきり日本美術館リターンズ
18. 千葉県立中央博物館で貝塚王国、千葉の縄文時代を探る
19. なりきり日本美術館リターンズで屏風の表と裏を楽しむ
20. なりきり日本美術館で八橋蒔絵螺鈿硯箱を楽しむ
21. 「e国宝」リニューアル
22. ColBaseで「あつ森」を楽しもう!
23. もうひとつのトーハク! パーチャル特別展を開催中!
24. 古河歴史博物館「国宝参上。」展を振り返る
25. <冬木小袖>修理プロジェクト1年間を振り返って
26. なりきりOPAM開幕!
27. 幻の展覧会「国宝参上。」展 VR制作の舞台裏(前編)
28. 幻の展覧会「国宝参上。」展 VR制作の舞台裏(後編)
29. 茨城県立歴史館でサムライ体験
30. なりきりOPAMの楽しみ方(前編)
31. 『あつ森』マイデザイン「ふゆきなこそで」を公開!
32. 保存担当学芸員研修、36年の歩みとこれから
33. 群馬県立歴史博物館で輪軸の甲冑体験

SNS発信(2021年3月31日現在)

- ・ぶんかつや機構内他機関の展示・イベント、研修等、旬な情報を発信
 - ・フォトコンテストの開催など、SNSを活用した広報を展開
- 【Twitter】 1,752フォロワー (+529) 総ツイート数 755※RT含
【Instagram】 309フォロワー (+176) 総投稿数 165
【YouTube】 チャンネル登録者数 344人 (+320) 総投稿数 13
*()内は2019年度との比較

プレスリリース配信・記者内覧会等の実施

プレスリリース配信(12件)

- 2020年 6月23日 高精細複製品によるあたらしい屏風体験「国宝 花下遊楽図屏風」東京国立博物館にて限定公開
- 2020年 6月25日 初音ミク×トーハク×ぶんかつ<冬木小袖>ミック誕生!
- 2020年 6月29日 大迫力の4K映像で日本文化の魅力を体験!東京国立博物館にて無料上映
- 2020年 7月 1日 文化財活用センターは2020年7月で2周年を迎えました
- 2020年 7月 1日 東京国立博物館・シャープ株式会社との共同研究による実証実験 8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」東京国立博物館にて開催

- 2020年 8月 7日 「国立文化財機構 寄附ポータルサイト」を開設
- 2020年 8月12日 東京国立博物館所蔵の名品から複製きものが完成! 特別展「きもの KIMONO」(~8/23)にあわせて公開中
- 2020年 9月17日 東京国立博物館、文化財活用センター、KDDI、5Gで文化財の新たな鑑賞体験を提案する共同研究プロジェクトを発足
- 2020年 9月30日 国宝「鷹見泉石像」など、東京国立博物館所蔵作品約120件が日本各地の博物館へ里帰り 2020年度東京国立博物館収蔵品貸与促進事業
- 2020年10月13日 びじゅチューン!とコラボした体験型展示「なりきり日本美術館リターンズ」東京国立博物館にて2020年10月27日(火)から開催
- 2020年11月18日 東京国立博物館・文化財活用センター・凸版印刷、パーチャルトーハクを開設。「時をかける少女」の特別展を開催
- 2021年 3月23日 2021年度国立博物館収蔵品貸与促進事業 実施対象館が決定

記者内覧会等の実施(3件)

- 2020年 7月 1日 高精細複製品によるあたらしい屏風体験「国宝 花下遊楽図屏風」記者プレビュー
- 2020年 7月28日 8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」記者プレビュー
- 2020年10月26日 びじゅチューン!とコラボした体験型展示「なりきり日本美術館リターンズ」記者内覧会

動画制作(13件)

YouTubeぶんかつ【文化財活用センター】チャンネル

(<https://www.youtube.com/c/cpcpnich/channels>)にて公開

- 2020年 5月 7日 A GLIDE ON THE GREAT WAVE 日本の文化・歴史の波を滑走!
- 2020年 7月 1日 8Kで文化財「ふれる・まわせる名茶碗」東京国立博物館にて開催
- 2020年 7月 3日 高精細複製品によるあたらしい屏風体験「国宝 花下遊楽図屏風」
- 2020年11月 6日 井上涼さんが体験 風神雷神図屏風・夏草図屏風表と裏でダブルデート
- 2020年11月 6日 井上涼さんが体験 国宝「松林図」ライブ
- 2020年11月 6日 びじゅチューン!「あえて湖畔(こはん)」のもとになったほんものの 重要文化財「湖畔」を見に行く
- 2020年11月10日 井上涼さんが体験 おじゃまします八橋蒔絵硯箱
- 2020年11月10日 びじゅチューン!「住んでます、八橋蒔絵硯箱」のもとになったほんものの 国宝「八橋蒔絵螺鈿硯箱」を見に行く
- 2020年11月12日 【<冬木小袖>修理プロジェクト】光琳のきもの一その魅力と現状
- 2020年11月12日 【<冬木小袖>修理プロジェクト】さらに深掘り!光琳のきもの
- 2020年11月13日 びじゅチューン!「特急三日月宗近」のもとになったほんものの 国宝「三日月宗近」を見に行く
- 2020年11月13日 トーハクでお気に入りの「びじゅつ」を見つけよう
- 2020年11月13日 びじゅチューン!「ツイスト土産」のもとになったほんものの 重要文化財「摩耶夫人および天人像」を見に行く

印刷物制作

パンフレット・チラシ等印刷物制作(6件)

1. 親と子のギャラリー「トーハク×びじゅチューン!なりきり日本美術館リターンズ」【チラシ・ポスター】
2. 2021年度アウトリーチプログラム【チラシ】
3. 令和4年(2022)貸与促進事業募集【チラシ】
4. 文化財活用センター<ぶんかつ>概要【パンフレット】
5. 文化財複製のお貸し出し【チラシ】
6. 文化財活用センター事業報告書 2018・2019年度【報告書】

地域での広報

貸与促進事業実施館地域でのポスター掲出【有料広告】

実施館 : 九州歴史資料館

掲出期間 : 2020/9/28-11/30

掲出場所 : 西鉄電車主要駅(26駅/駅貼り・福岡都市圏セット)

内容 : 展覧会ポスター

(※文化財活用センターおよび貸与促進事業について掲載あり)

職員

(2021年3月31日時点)

文化財活用センター長
副センター長

旭 充
小林 牧

企画担当

課長
研究員
研究員
研究員
専門職
専門職
アソシエイトフェロー

松嶋 雅人
高橋 真作
西木 政統
小島 有紀子
高木 結美
松沼 穂積
加納 彩子
清水 澄子

賞与促進担当

課長
室長
室長

丸山 士郎
沖松 健次郎
品川 欣也

室長
室長
主任研究員
専門職
アソシエイトフェロー

デジタル資源担当

課長
室長
室長
専門職

高橋 美奈子
皿井 舞
三田 覚之
関 紀子
曾田 めぐみ

今井 敦
二神 葉子
村田 良二
竹内 俊貴
川合 加容子

保存担当

課長
室長
研究員
研究員

総務担当

課長
係長
係員
専門職員

富坂 賢
吉田 直人
間瀬 創
野中 昭美
木下 美緒

坂本 真樹
田村 淳朗
中東 達矢
古山 珠美
本間 明
矢野 梓

文化財活用センター事業報告書 2020年度

発行日 令和3年(2021)6月30日

編集・発行 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9(東京国立博物館 東洋館5階)

デザイン・印刷 大協印刷株式会社